2022年3月期 第2四半期 決算報告

2021年11月12日 第一生命ホールディングス株式会社



- 第一生命ホールディングス経営企画ユニット長の西村です。
- 本日は、第一生命グループの2022年3月期第2四半期決算報告の電話会議 にご参加いただきまして、ありがとうございます。
- 私から資料に沿って概要をご説明し、残りの時間を質疑応答とさせていただきます。
- 2ページをご覧ください。

目次



● 本日のポイント	P.2
● グループ各社の業績概要	P.9
● グループEEV	P.18
● 参考データ	P.24

<u></u>	要為替レート(TTM)		
	米ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円
2021/9末	111.92円	129.86円	80.46円
2021/6末	110.58円	131.58円	83.12円
2021/3末	110.71円	129.80円	84.36円
2020/12末	103.50円	126.95円	78.84円
2020/9末	105.80円	124.17円	75.49円
2020/6末	107.74円	121.08円	73.88円

グループ各社略称・	山客中泰	油管期
グルーノ各任哈孙・	工員几平	

AMOne アセットマネジメントOne

国内生命係	R 険事業		出資比率	決算期
DL	第一生命		100%	
DFL	第一フロンティア生命		100%	4-3月
NFL	ネオファースト生命		100%	
海外生命係	R 除事業			
PLC	プロテクティブ	[米国] Protective Life Corporation	100%	1-12月
TAL	TAL	[豪州] TAL Dai-ichi Life Australia	100%	4-3月
DLVN	第一生命ベトナム	[ベトナム] Dai-ichi Life Insurance Company of Vietnam	100%	
DLKH	第一生命カンボジア	[カンボジア] Dai-ichi Life Insurance (Cambodia)	100%	1-12月
DLMM	第一生命ミャンマー	[ミャンマー] Dai-ichi Life Insurance Myanmar	100%	
SUD	スター・ユニオン・第一ライフ	[インド] Star Union Dai-ichi Life Insurance Company	45.9%	4-3月
PDL	パニン・第一ライフ	[インドネシア] PT Panin Dai-ichi Life	40%	
OLI	オーシャン・ライフ	[タイ] OCEAN LIFE INSURANCE PUBLIC COMPANY	24%	1-12月
DLRe	Dai-ichi Re	[バミューダ] Dai-ichi Life Reinsurance Bermuda	100%	
その他事業	(アセットマネジメント事業)			

.

49%(議決権) 30%(経済持分) 4-3月

本日のポイント



1. [新契約業績]

- ▶ 国内新契約ANP
- ▶ 海外新契約ANP

2. [連結利益·配当]

- ▶ グループ修正利益
- ▶ 株主配当予想
- ▶ 連結当期純利益

3. [経済価値]

- ▶ グループEEV
- ▶ グループ新契約価値

国内は前々年同期の水準をやや下回るものの、海外は大きく伸展し、グループ全体ではほぼ横ばい

- ・前年同期比では、前年に営業自粛等の営業制約があったDL・DFLは大幅に増加、NFLは前年に引き続き順調に新契約を拡大コロナ発生前となる前々年同期との比較では、DLが \triangle 8%、DFLが \triangle 12%の一方でNFLは+64%増加し、国内全体で約9割の水準
- ・米PLC・DLVN(ベトナム)を中心に順調に推移し、前年同期比+41%、前々年同期比+27%の増加(為替変動の影響を除く)

良好な利益進捗等を背景に、通期の連結利益予想と1株あたり配当金予想を上方修正

- ・DLの運用収支やPLCの引当金戻入等の上振れ要因により、DLにおける出再を実施した上でも1,563億円と、良好な進捗 DL運用収支の改善を踏まえた追加出再の検討やDFLでの一時費用(後述)等を織り込みつつ、通期予想は2,700億円程度へ上方修正
- ・1株あたり配当金予想は、80円に上方修正(前期実績: 62円、期初予想: 77円)
- ・来期より適用検討中のグループ通算制度導入に伴い、当期末に繰延税金資産の増加が見込まれること等を反映し、3,490億円に上方修正なお、制度導入を前提に、DFLの資本効率等の観点から、修正共同保険式再保険(サープラス・リリーフ)の一部解約(費用発生)を実施予定

グループEEVは前期末比+7%増加の7兆4,606億円、グループ新契約価値は709億円

- ・金融市場が概ね安定した動きとなった結果、グループEEVはDLを中心に増加し、前期末比+7%の7兆4,606億円
- ・国内: 513億円、海外: 195億円となり、海外は堅調に推移したものの、国内はDL・DFLを中心に期初想定を下回る 2Q実績等を踏まえ、通期予想は、グループ全体で1,190億円程度(期初予想比△400億円)へ下方修正

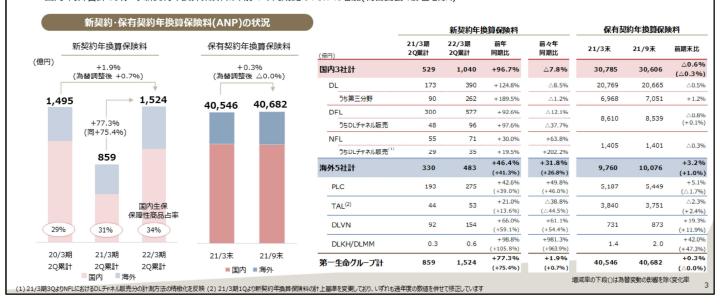
			死亡保険金(給付金)		入院給付金等	
新型コロナに関連した			件数	金額	件数	金額
保険金等のお支払いの状況*1	되다 위비 구스삭	2021年7月-9月	486#	約27億円	17,777件	約19億円
:1 2021年9月30日時点での判明分 海外グループ会社は9月末為替レート(TTM)にて円換算、再保険考慮後 2 集計開始(2020年3月)からの累計	国内グループ会社	計測開始来累計*2	1,756件	約101億円	39,795件	約41億円
	海外グループ会社	2021年7月-9月	2,829件	約101億円	11,375件	約6億円
		計測開始来累計*2	11,957件	約479億円	14,955件	約11億円

- 本日のポイントを以下の3点にまとめました。
- まず、新契約業績です。国内の新契約年換算保険料は、前年同期の営業制約等からの反動で大幅に増加しましたが、前々年同期をやや下回りました。一方、海外は各国で順調に推移し、グループ全体で前々年同期からほぼ横ばいとなりました。
- 連結利益および配当です。概ね安定した金融市場環境を背景に、第一生命の運用 収支や米PLCの想定以上の改善が利益進捗に大きく寄与しました。グループ修正利益 は、通期予想に織り込んでいた第一生命における責任準備金3,000億円の出再を実 施し、約△800億円の臨時損失を計上した中で、1,563億円となりました。
- 期初想定を上回る運用収支の改善等を踏まえ、第一生命では追加出再の実施を検討しています。後述する第一フロンティア生命での一時費用の発生等も織り込みつつ、通期予想は2,700億円程度へ上方修正しました。
 1株あたり配当金は期初予想から+3円増額し、80円を見込みます。
- 連結当期純利益は、グループ修正利益の引上げに加え、来期より適用を検討している グループ通算制度の影響を織り込んでいます。導入に伴い、当期末に繰延税金資産の 計上が見込まれること等を反映し、通期予想は3,490億円に上方修正しました。
- なお、制度導入を前提に、第一フロンティア生命では、純資産の増加が見込まれること 等を踏まえて、サープラス・リリーフの一部解約を行う予定です。これにより約△200億円 の一時費用を計上しますが、来期以降に一定の利益改善が見込まれます。
- 最後に経済価値指標です。グループEEVは前期末から+7%増加の7兆4,606億円と なりました。
- グループ新契約価値は、海外では堅調な推移となりましたが、国内は、第一生命において第1四半期を中心に利益幅が非常に小さい保障見直し(転換)が増加したことが影響しました。また、第一フロンティア生命において、新契約価値計算に上乗せするICS公表値に基づく社債スプレッドが期初計画時の想定を下回ったこと等から、進捗率が低位に留まりました。このような状況を踏まえ、通期見通しは1,190億円程度に下方修正を行いました。
- 次のページをご覧下さい。

決算のポイント - 営業業績



- ▶ 国内は、営業自粛等があった前年同期から大幅に増加し、医療保険新商品(DL)や外貨建資産形成商品(DFL)、医療保険の商品改定(NFL)等が寄与コロナ発生前となる前々年同期(20/3期2Q累計)比では、全体で△7.8%となり、DL△8.5%、DFL△12.1%、NFLは+63.8%増加
- ▶ 海外は、米PLCが変額年金等の販売拡大により+39.0%増加したほか、豪TAL、DLVN(ベトナム)も伸展し、全体で前年同期比+41.3%、前々年同期比+26.8% 国内・海外合計のグループ新契約年換算保険料は、前々年同期比で+0.7%増加(為替変動の影響を除く)



- 営業業績について説明します。
- 第一生命では、1月に発売した「総合医療一時金保険」の既契約者を中心とした販売に加え、6月より発売を開始した「入院一時金保険(限定告知型)」が、若年層を含む幅広い新規のお客さまからご支持をいただき、今年度の営業業績に寄与しましたが、前々年同期からは約△8%下回る水準となりました。
- 第一フロンティア生命では、海外金利の上昇等を踏まえ、外貨建の資産形成商品の販売が伸びましたが、前々年同期からは約△12%下回る水準となりました。一方、ネオファースト生命では、4月より三大疾病保障の支払事由を拡大する等の商品改定を行ったことや、お客さまの健康年齢により保険料を決定する入院一時給付保険等が販売増加に貢献しました。
- 海外各社の営業業績は、前年同期のコロナ禍においても概ね堅調でしたが、当期も引き続き伸展しています。米プロテクティブでは、法人を契約者・受取人とする保険商品や変額年金の販売が拡大したほか、豪TAL、第一生命ベトナムも2桁の成長となりました。
- 次のページをご覧下さい。

決算のポイント - グループ修正利益・連結純利益 Dai-ichi Life グループ修正利益は、金融市場環境の安定した推移等を背景に、国内ではDLの運用収支が前年同期比で大幅に改善したほか、海外では米PLCが大幅な増益 当期計画していたDLの出再(責任準備金約3,000億円)に伴う臨時損失△798億円の計上後においても、前年同期比+86%増加の1,563億円 連結純利益は、グループ修正利益の増加にDFLのMVA損益等が加わり、前年同期比+114%の1,784億円 グループ修正利益・前期比変動要因 グループ修正利益・連結純利益の差異 国内生保 +443億円 海外牛保 +251億円 (貸円) (+)金融派生商品損益 (+)為替差損益·有価証券評価損 (+)有価証券売却損益 (-)再保険関係収支(出再の実施)等 (+)基礎的収益力 (-)家金利変動の影響等 (+)AMO増益 等 1.784 ∆32 $\triangle 1$ 1,563 +20 その他 のれん DFL (市場価格調整) (+)順ざや (-)保険関係損益 (+)越DLVN増益 等 841 (—)保険金支払増加(リテール事業) (+)営業利益(買収事業等) (+)予想信用損失(CECL)引当金の戻入 (+)デリバティブ損益・債券評価損益 等 22/3期 21/3期 22/3期 2Q累計 グループ修正利益 2Q累計 グループ修正利益 2Q累計 連結純利益 DL⁽¹⁾ DL(1) DFL NFL 米PLC 豪TAL その他 Ptoh DLRe. 基礎利益 土ャピカル 海外生保 マネシ゛メント HD·その他 (グループ修正利益からの増減金額) △34 △32 2,450 △1,515 201 328 33 74 28 1,563 +254 1,784 △3 21/3期 2.302 △1.789 222 △77 97 51 37 21 △23 841 +8 △27 +10 833 20累計

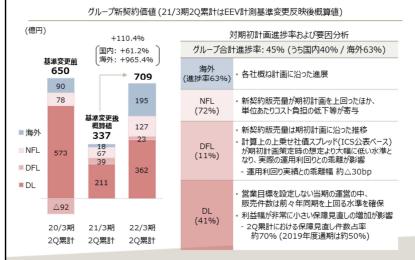
- 利益指標について説明します。
- グループ修正利益は前年同期比で大幅に改善し、1,563億円となりました。これは、前年同期における金融市場の急激な変動等に伴う損失から、当期は改善したことが主な要因です。第一生命では、金融派生商品損益を中心にキャピタル損益が大幅に改善したことや順ざやの改善などを踏まえ、通期予想に織り込んでいた出再を実施しましたが、その上でも増益を確保しています。
- また、米プロテクティブでも、評価損益を中心とした営業外損益が大きく反転しました。一方、豪TALでは、個人・団体保険等の基礎的収益力に大きな改善が見られたものの、 豪州金利のイールドカーブが前期末比で大きくフラットニングしたこと等を受け、資産・保 険負債の時価変動による損益がマイナス方向に影響しました。 当期に高い利益成長を 見込む第一生命ベトナムは、順調に利益を拡大しています。
- 連結純利益は、これらの増益要因に加え、第一フロンティア生命のMVA損益がプラスに 寄与したことから、1,784億円となりました。
- 次のページをご覧下さい。

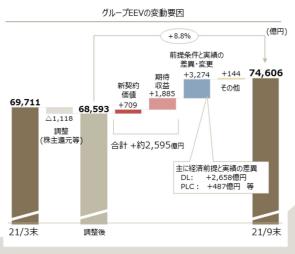
決算のポイント - グループ新契約価値・グループEEVの変動要因



- ▶ グループ新契約価値は709億円と前年同期比で増加したものの、期初計画比では、海外各社が堅調に推移する中でDL・DFLが想定を下回る
- ▶ 国内では、医療保険を中心に新契約を拡大したNFLが順調に進展したが、DLは1Qを中心に利益幅が非常に小さい保障見直し(転換)が多かったことが影響 DFLは、新契約価値計算に上乗せする社債運用スプレッド(ICS公表ペース)が期初計画時の想定よりも低い水準となり、新契約価値水準は期初計画を大きく下回る
- ▶ グループEEVは、金融市場が前期末から概ね安定した動きとなった結果、DLを中心に増加し、前期末比+7%(調整後+8.8%)の7兆4,606億円

グループ新契約価値・グループEEVの変動要因





- グループ新契約価値・グループEEVについて説明します。
- グループ新契約価値は前年同期からは増加していますが、国内においては、第一生命・ 第一フロンティア生命を中心に期初計画の想定を下回る進捗となりました。
- 第一生命では、販売件数は前々年同期を上回る水準を確保しましたが、第1四半期を中心に、利益幅が非常に小さい医療保険間での保障見直しが大きく増加したことから、見直し後の追加的な新契約価値が伸び悩み、期初予想に対する進捗率が約40%となりました。
- 第一フロンティア生命では、前期末EEVより、新契約価値計算において、国際的な保険規制として検討されているICS(国際保険資本基準)の公表値に基づく社債スプレッドの上乗せを考慮しています。しかしながら、期初計画時に想定していた上乗せスプレッドよりも公表値が大幅に低い水準となったため、新契約の販売量は期初計画に沿って推移したものの、計算される新契約価値水準は想定を大きく下回りました。お客さまへの付与利率は実際に購入した資産運用利回りをベースに決定されますが、新契約価値計算上の運用利回りは、実際の利回りよりも低いICSの公表値に基づく上乗せのみを考慮しており、乖離が生じていることがネガティブに影響しています。
- 一方、ネオファースト生命や海外各社は、計画対比で順調な進捗となりました。
- グループEEVは、金融市場環境が概ね安定した動きとなったこと等から、前期末から微増となりました。なお、資本充足率(ESR)は、来週18日に予定している決算・経営説明会にて公表します。
- 次のページをご覧ください。

2022年3月期 グループ修正利益・新契約価値予想 - 変動要因(期初予想対比) Dai-ichi Life グループ修正利益は、DL運用収支の改善を踏まえた追加出再の検討やDFLにおける一時費用等を織り込みつつ、通期予想を2,700億円程度へ上方修正 連結純利益は、グループ修正利益の増加に加え、来期より適用検討中のグループ通算制度導入に伴い、当期末に繰延税金資産の増加が見込まれることを反映し、 3,490億円に上方修正(なお、制度導入を前提に、DFLの資本効率等の観点から、修正共同保険式再保険(サープラス・リリーフ)の一部解約(費用発生)を実施予定) グループ新契約価値は、2Q実績等を踏まえて国内各社の見通しを修正し、グループ全体で1,190億円程度へ下方修正 グループ修正利益予想・期初予想比変動要因 (億円) (+)グルーブ通算制度約+380億円 (+)DFL MVA(市場価格調整)関連損益 約+400億円(期初予想から変更なし) 等 (億円) (-)追加出再の検討の織り込み (-)DL: 1Qを中心とした特定の保障見直しの増加 (-)DFL: 期初予想対比での社債スプレッド前提の差異 (+)NFL: 医療保険の堅調な販売増加 等 (臨時損失約△260億円) 等 [今回予想] (+)順ざや増加 等 (+)有価証券売却損益 (-)サープラス・リリーフ一部解約 (+)貸倒引当金の戻入等 [期初予想] 3,490 -プラス・リリーフ―部解約 -時費用約△200億円 等 +790 1.590程度 [今回予想] [期初予想] 2,700程度 [今回予想] 2,400程度 1.190程度 修正項目 △255 △80 国内生保 + 160億円 海外生保 + 150億円 グループ修正利益 -プ修正利益 連結<mark>当期純</mark>利益 アセットマネシ゛メント DI (1) $DL^{(1)}$ DFL/NFL ₩PLC 泵TAL その他 DFL/NFL 海外 海外生保 DL 基礎利益 その他 腹時捐益等 (グループ修正利益からの増減金額) 2.700 3.490 1.190 今回予想 4,500 △2,500 460 100 +790 635 245 310 △2,240 310 100 130 390 310 4,000 110 +390 (5月) 程度 程度

- 利益予想・新契約価値予想の修正について詳細を示しています。
- グループ修正利益は国内・海外ともに上振れを反映して2,700億円程度、連結当期 純利益は、これらに加えて検討中のグループ通算制度導入の影響を含めて3,490億 円を見込んでいます。
- グループ修正利益は、第一生命の順ざや等の運用収支の改善見通しを踏まえ、責任 準備金約1,000億円、臨時損失△260億円規模の出再の追加実施を織り込んでい ます。また、第一フロンティア生命において、グループ通算制度の導入を前提としたサープ ラス・リリーフの一部解約による一時費用約△200億円を考慮しました。
- 新契約価値予想は、先述した第2四半期累計実績を踏まえて通期予想を見直した結果、国内全体で約△400億円引き下げ、グループ全体で1,190億円程度を予想しています。
- 次のページをご覧下さい。

(1) 基礎利益は税前を記載しており、DLにおける法人税等の変動は、キャピタル・臨時損益等に含めています

グループ連結主要業績および2022年3月期業績予想



▶ グループ修正利益の通期予想の上方修正等を踏まえ、当期の1株あたり配当金予想を80円へ引上げ(前期実績: 62円、期初予想: 77円)

	21/3期	22/3期	前年 同期比	(%)	対通期予想 (今回)進捗率	22/3期通 期初予想(5月)		業績予想 増減額	(参考)21/3期 通期実績
(億円)	2Q累計	2Q累計	口州心			. ,	今回	4百/10/6共	
連結経常収益	33,631	37,657	+ 4,026	+ 12%	52%	66,430	72,320	+ 5,890	78,278
第一生命	17,821	21,435	+ 3,613	+ 20%	53%	36,670	40,550	+ 3,880	38,117
第一フロンティア生命	8,589	8,710	+ 120	+ 1%	55%	13,100	15,890	+ 2,790	22,171
米プロテクティブ (百万米ドル) ⁽¹⁾	4,938	7,253	+ 2,314	+ 47%	58%	9,620	12,400	+ 2,780	12,107
豪TAL (百万豪ドル) ⁽¹⁾	3,326	3,279	△ 46	△ 1%	50%	6,520	6,520	-	6,26
連結経常利益	1,628	2,862	+ 1,234	+ 76%	55%	4,790	5,200	+ 410	5,528
第一生命	1,193	1,799	+ 605	+ 51%	48%	3,430	3,780	+ 350	3,73
第一フロンティア生命	300	565	+ 264	+ 88%	83%	780	680	△ 100	1,147
**プロテクティブ (百万米ドル) ⁽¹⁾	112	362	+ 249	+ 223%	72%	350	500	+ 150	46:
豪TAL (百万豪ドル) ⁽¹⁾	98	63	△ 35	△ 36%	42%	150	150	-	25
連結純利益(2)	833	1,784	+ 951	+ 114%	51%	2,790	3,490	+ 700	3,637
第一生命	512	934	+ 421	+ 82%	47%	1,760	2,000	+ 240	1,96
第一フロンティア生命	231	456	+ 224	+ 97%	50%	610	920	+ 310	86
米プロテクティブ (百万米ドル) ⁽¹⁾	90	297	+ 207	+ 229%	73%	270	410	+ 140	36
豪TAL (百万豪ドル) ⁽¹⁾	63	37	△ 25	△ 40%	38%	100	100	-	17
グループ修正利益	841	1,563	+ 721	+ 86%	58%	2,400程度	2,700程度	+ 300	2,828
グループ新契約価値	337	709	+ 372	+ 110%	60%	1,590程度	1,190程度	△ 400	1,271
				1	上株あたり配当金(円)	77	80	+ 3	62
(参考)基礎利益	2,865	3,225	+ 359	+ 13%	58%	5,000程度	5,600程度	+ 600	6,23
第一生命	2,302	2,450	+ 148	+ 6%	54%	4,000程度	4,500程度	+ 500	4,80

- 経常項目を含めた第2四半期累計の進捗率および通期予想の修正額について記載 しています。
- 経常収益は、良好な金融市場環境に伴い、第一生命及び米プロテクティブにおける資産運用収益の増加等により、期初予想対比での増加を見込んでいます。
- 1株あたり配当金は、今回のグループ修正利益の上方修正を踏まえた過去3年平均の約30%程度を前提に、現在実施中の自己株式取得に伴う対象株式数の減少も想定し、期初予想対比+3円の80円を予想します。
- 次のページをご覧下さい。

[参考] グループ通算制度導入による影響



- ▶ 当社は、国内グループ各社の税務コスト適正化と税務ガバナンス向上を目的として、来期(23/3期)より、グループ通算制度を導入予定(税務当局の承認が前提)
- ▶ グループ通算制度の導入により、国内子会社の繰延税金資産の回収可能性をグループ単位で判定することが可能となるため、当期末(22/3期末)において、繰延税金資産を計上し、連結純資産および連結当期純利益が約380億円増加する見込み (グループ修正利益には含めない)
 来期以降は、通算グループ内の所得と欠損を通算することから、現在の各社による単体納税と比較し、全体の税金費用負担は軽減する見込み (グループ修正利益に含む)
- ▶ また、DFLにおいて、繰延税金資産の計上に伴い純資産が増加し、健全性が改善することから、修正共同保険式再保険(サープラス・リリーフ)の一部解約を実施する予定これにより、DFLは当期(22/3期)に約△200億円の一時費用を計上するものの、来期以降、毎期一定の利益改善を見込む (グループ修正利益に含む)

グループ通算制度の導入

[導入時期] 2023年3月期(来期)

※税務当局の承認が前提

[対象会社] 第一生命ホールディングスおよび国内100%出資子会社(全16社)

[導入効果]

(当期: 22/3期)

✓ 従来認識できなかった繰延税金資産の一部について、回収可能性をグループ単位で判定することが可能となり、繰延税金資産および純資産が増加

[連結純利益・連結純資産] 約380億円増加見込み (主にDFL

約380億円増加見込み (主にDFL) ※グループ修正利益には<u>含めない</u>

(来期以降: 23/3期以降)

✓ 国内グループ各社の所得と欠損を通算することから、 現在の各社による単体納税と比較し、グループ全体 の税金費用負担は軽減する見込み

※グループ修正利益に含む



DFLにおける修正共同保険式再保険(サープラス・リリーフ)の一部解約

サープラス・リリースと新契約費の関係(イメージ)

今回一部解約(未償却残高を取崩し)予定

保険収益から新契約費を同収

初年度の出再手数料収入を

毎期償却(≒再保険料支払)

[サープラス・リリーフについて]

✓ 保険会社の新契約費未回収リスクを軽減する再保険契約(会計上は新契約費負担を平準化する効果)

√ 初年度以降、契約期間にわたり償却

[実施効果] ※グループ修正利益に<u>含む</u> (当期: 22/3期)

 ✓ グループ通算制度の導入によりDFLにおいて繰延税金資産が計上され純資産が増加し、 健全性が改善することから、当期末までにサーブラス・リリーフの一部解約を実施予定 ※再保険会社の合意が前提

新契約費

(初年度)

√ 未償却残高相当分は一括費用計上される

[グループ修正利益・連結純利益・連結純資産] 約△200億円減少

(来期以降: 23/3期以降)

✓ 償却負担(≒再保険会社への再保険料等支払、リスクチャージ含む)が不要となり、 毎期一定の利益改善を見込む

- 最後にグループ通算制度導入による影響について補足します。
- グループ通算制度は、第一生命ホールディングスおよび100%出資の国内子会社を対象とし、各社の税務コストの適正化と税務ガバナンス向上を目的に来年度より導入予定として準備を進めています。
- 制度導入により、従来個社では認識できなかった繰延税金資産の一部について、回収可能性をグループ単位で判定することが可能になります。これにより、当期末において、主に第一フロンティア生命で追加の繰延税金資産が計上され、連結純資産および連結当期純利益が約380億円増加する見込みです。これは税額計算方法の変更に伴う繰延税金資産の増加によるものであり、グループ修正利益には含めませんが、来期以降のグループ各社の所得と欠損の通算に基づく税金費用の軽減効果は、グループ修正利益に含まれます。
- 一方、第一フロンティア生命では、過去から新契約費負担を平準化する効果のあるサープラス・リリーフを活用し、財務健全性への影響をコントロールしてきましたが、今回の繰延税金資産の計上により純資産が増加することを踏まえ、当該再保険契約の一部解約を実施する予定です。この結果、過去の新契約費の未償却残高相当額が一括費用認識され、当期に約△200億円の影響が生じますが、来期以降は償却負担が不要となるため、一定の利益改善が見込まれます。これらは、グループ修正利益に含めます。
- 私からの説明は以上です。



.

[グループ各社の業績概要] 国内生命保険事業 – 第一生命



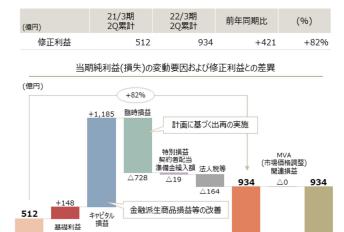
- ▶ 基礎利益は、順ざやの増加を主な要因として前年同期比+6%増加の2,450億円
- ▶ 修正利益は、出再実施に伴う臨時損失を計上しつつも、前年同期に金融市場変動に伴って計上した金融派生商品損の大幅な改善により、+82%増加の934億円

当期利益

21/3期 2Q累計

	単体業績			
(億円)	21/3期 2Q累計	22/3期 2Q累計	前年同期比	(%)
保険料等収入	10,865	10,983	+ 117	+ 19
基礎利益	2,302	2,450	+ 148	+ 6%
順ざや	825	1,077	+ 251	+ 319
保険関係損益	1,476	1,373	△ 102	△ 79
キャピタル損益	△ 692	493	+ 1,185	
有価証券売却損益	888	917	+ 28	
金融派生商品損益	△ 1,262	△ 238	+ 1,024	
為替差損益	△ 264	△ 180	+ 84	
有価証券評価損	△ 79	△ 21	+ 57	
臨時損益	△ 416	△ 1,144	△ 728	
新規追加責任準備金繰入額	△ 376	△ 346	+ 29	
危険準備金繰入(△)/戻入額(+)	△ 32	-	+ 32	
再保険関連収支	-	△ 798	△ 798	
経常利益(損失)	1,193	1,799	+ 605	+ 519
特別損益	△ 101	△ 132	△ 30	
価格変動準備金繰入(△)/戻入額(+)	△ 85	△ 90	△ 5	
契約者配当準備金繰入額	△ 368	△ 357	+ 11	
法人税等合計	△ 210	△ 374	△ 164	
当期純利益(損失)	512	934	+ 421	+ 82%
(参考) 基礎利益における再保険取引の影響額 (1)	+約30	+約60	+約30	

(1) 再保険取引の影響額: 19/3期より実施している戦略的な終身保険の再保険取引(出再)による、予定利息の軽減効果や保険期係損益に与える影響額(概算)



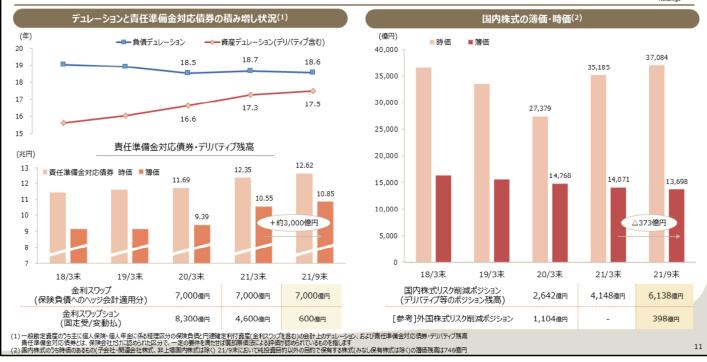
当期利益

22/3期 2Q累計 修正利益

22/3期 2Q累計

第一生命 - 市場関連リスク削減の取組状況





国内生命保険事業 - 第一フロンティア生命



- ▶ 基礎利益は、最低保証リスクに係る損益の悪化により、前年同期比△25%減少の213億円
- ▶ 当期利益は、MVA(市場価格調整)関連損益+244億円の計上等により、前年同期比+97%増加の456億円 MVA(市場価格調整)関連損益を除く修正利益は、ターゲット到達に係る債券売却益の計上等があったものの、前年同期比では△10%減少の201億円

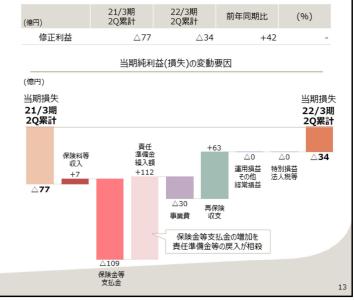
	単体業績 ⁽¹⁾					21/3期	22/3期	前年同期比	(%)
	21/3期 2Q累計	22/3期 2Q累計	前年同期比	(%)	(億円)	2Q累計	2Q累計		` ´
億円) 呆険料等収入	3,968	6,279	+ 2,310	+ 58%	修正利益	222	201	△21	△10%
MX11 TAX	3,900	0,279	+ 2,510	+ 50 70					
基礎利益 ⁽²⁾	283	213	△ 70	△ 25%	当其	阴純利益(損失)の	変動要因および修	正利益との差異	
順ざや・保険関係損益等	252	233	△ 19						
最低保証リスクに係る損益(責任準備金増減等)	31	△ 19	△ 51		(億円)	MVA			
キャピタル損益	202	359	+ 156			関連損益			
最低保証リスクヘッジ摂益	△ 52	△ 7	+ 44			+290			
MVA (市場価格調整)関連摂益	△ 167	244	+ 411				△10	456	
その他キャピタル摂益(有価証券売却摂益等)	422	122	△ 299				△40 準備金		
臨時損益	△ 185	△ 7	+ 178				増減 法人税	等	
危険準備金縵入(△)/戻入額(+)	3	△ 7	△ 11			その他			
MVA (市場価格調整) 関連損益(再保険関連)	120	-	△ 120			キャピタル			
その他臨時損益(再保険関連収支)	△ 310	0	+ 310		231	/臨時損益 +10			
怪常利益(損失)	300	565	+ 264	+ 88%	△25	T10		A 3.5	201
持別損益	△ 28	△ 27	+ 0		基礎利益			△25	
価格変動準備金繰入(△)/戻入額(+)	△ 28	△ 27	+ 0		・最低保証リス	ウ		MVA (市場価格	
法人税等合計	△ 41	△ 81	△ 40		ヘッジ損益			関連損	
当期純利益(損失)	231	456	+ 224	+ 97%		+97%		-	
基礎利益・最低保証リスクヘッジ摂益	231	205	△ 25		\\\#B411 \\			\\/#8311 \/	16-T-11-14
その他キャピタル・その他覧時損益	112	122	+ 10		当期利益			当期利益	修正利益
MVA (市場価格調整)関連損益	△ 46	244	+ 290		21/3期			22/3期	22/3期
危険/価格変動準備金繰入/戻入額·法人税等合計	△ 65	△ 116	△ 51		2Q累計			2Q累計	2Q累計
22/3期1Qより各損益の内数の項目名を修正の上、役 21/3期1Qより基礎利益の基準変更を行い、外貨連修	来の事業利益を組替え、一時 民険商品対応のための通貨スワ	的な有価証券売却 ップ及び金利スワップ	損益等のキャピタルが 取引に係る受取・支	益やその他臨時 払利息の額及び	損益の再保険関連収支を区分する関 再保険取引に係る金銭の信託等にて	表示方法に変更しています 解保する資産より生じる影響	窓面こついてはキャピタル損益	より組み替えています	

国内生命保険事業 - ネオファースト生命



- ▶ 保険料等収入は、経営者保険の解約が一部生じたものの、堅調な新契約獲得により、前年同期比+1%増加
- ▶ 経営者保険の解約に伴う保険金等支払金の増加は、責任準備金等の戻入によって相殺 修正共同保険式再保険(サープラス・リリーフ)の実施に伴う新契約に係る事業費負担の軽減等により、当期純損失は△34億円(前年同期は△77億円)に改善

	単体業績			
(億円)	21/3期 2Q累計	22/3期 2Q累計	前年同期比	(%)
保険料等収入(再保険収入を除く)	663	671	+ 7	+ 19
保険金等支払金(再保険料を除く)	△ 93	△ 203	△ 109	
保険金·年金·給付金	△ 25	△ 42	△ 16	
解約返戻金・その他返戻金	△ 68	△ 160	△ 92	
責任準備金等繰入額	△ 434	△ 322	+ 112	
危険準備金繰入(△)/戻入額(+)	△ 1	△ 0	+ 1	
事業費	△ 129	△ 160	△ 30	
再保険収支	△ 78	△ 14	+ 63	
資産運用損益・その他経常損益	△ 4	△ 5	△ 0	
資産運用損益	1	2	+ 1	
その他経常損益	△ 5	△ 7	△ 1	
経常利益(損失)	△ 77	△ 34	+ 43	
特別損益	△ 0	△ 0	△ 0	
法人税等合計	△ 0	△ 0	-	
当期純利益(損失)	△ 77	△ 34	+ 42	
基礎利益	△ 75	△ 33	+ 41	



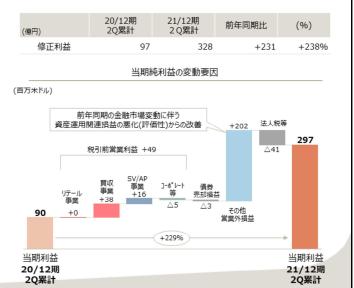
海外生命保険事業 - 米プロテクティブ



14

- ▶ 営業利益は、リテール事業において保険金支払増加等の影響があったものの、買収事業等の利益増加が寄与し、前年同期比+22%増加の271百万米ドル
- ▶ 当期純利益は、前年同期の金融市場変動に伴う債券評価損や商業モーゲージローンに対する貸倒引当金繰入負担等の改善により、大幅増加の297百万米ドル(21/12期3Q(7-9月)決算は、現地11/12頃の公表を予定)

	単体業績			
(百万米ドル)	20/12期 2Q累計	21/12期 2Q累計	前年同期比	(%)
保険料等収入	2,911	3,110	+ 198	+ 7%
税引前営業利益 ⁽¹⁾	222	271	+ 49	+ 22%
リテール保険&年金	20	20	+ 0	+ 196
買収	173	211	+ 38	+ 22%
ステーブルパリュー(SV)	41	65	+ 23	+ 56%
アセットプロテクション(AP)	25	18	△ 7	△ 28%
コーポレート等	△ 38	△ 44	△ 5	
営業外損益(償却調整後)	△ 110	89	+ 199	
债券売却損益	41	38	△ 3	
债券評価損•株式評価損益等	△ 70	7	+ 77	
商業モーゲージローン貸倒引当金増減	△ 99	92	+ 191	
修正共同保険式再保険に関する損益	68	△ 9	△ 77	
デリバティブ損益(変額/定額年金等)	△ 164	2	+ 167	
市場変動に伴う変額商品のDAC償却等の変動 ⁽²⁾	-	17	-	
営業外損益に係るDAC等償却の変動	114	△ 60	△ 175	
法人税等	△ 21	△ 63	△ 41	
当期純利益	90	297	+ 207	+ 229%
当期純利益 ※円換算後: 億円	97	328	+ 231	+ 2389
決算為替レート(対円)	107.74	110.58	+ 2.84	+ 39



(1)終利益から資産運用やデルティブにおけるキャビ外、損益を控除した利益指導 (2)21/12期10より、変額商品に係るDAC等償却や最低保証責任準備金等の変動による損益のうち、金融市場変動による収益前提の変更に伴う損益を視引前営業利益がら除外し、営業外損益として組み替えています。過年度数値の修正は行っていません

海外生命保険事業 – 豪TAL



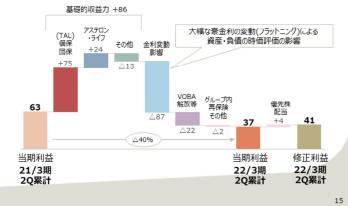
- ▶ 基礎的収益力は、個人・団体保険の損益改善や、アステロン・ライフの保険負債評価のモデル変更に伴う一時益により、前年同期比+130%増加の152百万豪ドル 当期純利益は、前期末比での大幅な豪金利の変動(フラットニング)による資産・負債の時価評価の影響等を受け、37百万豪ドル
- ▶ アステロン・ライフの統合プロセスの進展を踏まえ、10月に同社資産・負債のTALへの移転を実施

	単体業績			
(百万豪ドル)	21/3期 2Q累計	22/3期 2Q累計	前年同期比	(%)
保険料等収入	2,899	3,112	+ 213	+ 7%
基礎的収益力(稅引後)	66	152	+ 86	+ 130%
個人保険	62	79	+ 16	+ 279
団体保険	△ 22	35	+ 58	
アステロン・ライフ	41	65	+ 24	+ 609
その他(基礎的項目)	△ 14	△ 28	△ 13	
基礎的収益外損益(稅引後)	△ 3	△ 115	△ 111	
金利変動に伴う資産・保険負債の変動	33	△ 53	△ 87	
VOBAの解放・VIFの償却	12	△ 9	△ 22	
優先株配当等	△ 8	△ 7	+ 0	
グループ内再保険(出再)の影響 ⁽¹⁾	△ 15	△ 19	△ 3	
その他	△ 25	△ 24	+ 1	
当期純利益(損失)	63	37	△ 25	△ 40%
当期純利益(損失) ※円換算後: 億円	47	30	△ 17	△ 369
決算為替レート(対円)	75.49	80.46	+4.97	+ 79

(億円)	21/3期 2Q累計	22/3期 2Q累計	前年同期比	(%)
修正利益	51	33	△17	△34%

当期純利益(損失)の変動要因および修正利益との差異

(百万家ドル)



(1) グループ資本効率の観点から、豪TALよりグループ会社(DL)へ再保険(出再)を行ったことに伴う損益を記載しています

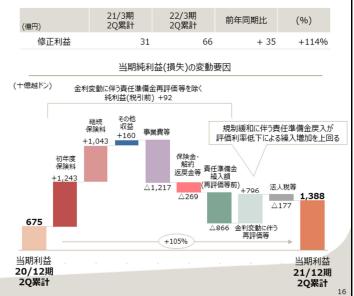
[グループ各社の業績概要] 海外生命保険事業 - 第一生命ベトナム

(1)契約より2年目以降の保険料収入です



- ▶ 堅調な新契約伸展と保有契約の拡大に伴い、保険料等収入は前年同期比+35%増加
- ▶ 当期純利益は、継続保険料拡大を通じた利益寄与に加え、一部商品の責任準備金計算の規制緩和に伴う戻入が寄与し、前年同期比+105%の1,388十億越ドン

	単体業績			
(+億越下>)	20/12期 2Q累計	21/12期 2Q累計	前年同期比	(%)
保険料等収入(再保険収入を除く)	6,480	8,767	+ 2,287	+ 359
初年度保険料	2,063	3,306	+ 1,243	+ 609
継続保険料(1)	4,417	5,460	+ 1,043	+ 249
その他収益	594	754	+ 160	
資産運用収益等	850	1,092	+ 241	
再保険収支	△ 256	△ 337	△ 81	
事業費等	△ 3,249	△ 4,467	△ 1,217	
初年度販売手数料・経費等	△ 2,487	△ 3,565	△ 1,078	
継続手数料·事務管理費	△ 762	△ 902	△ 139	
保険金·解約返戻金等	△ 668	△ 938	△ 269	
責任準備金繰入額等	△ 2,308	△ 2,379	△ 70	
責任準備金繰入額(再評価等考慮前)	△ 1,840	△ 2,707	△ 866	
金利変動に伴う責任準備金再評価等	△ 468	328	+ 796	
法人税等	△ 171	△ 348	△ 177	
当期純利益(損失)	675	1,388	+ 712	+ 1059
当期純利益(損失) ※円換算後: 億円	31	66	+ 35	+ 114
決算為替レート(対円)	0.0046	0.0048	+ 0.0002	+ 49
金利変動に伴う責任準備金再評価等を除く純利益(税引後)	1,050	1,125	+ 75	+ 79

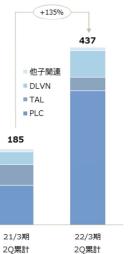


海外生命保険事業・その他事業(アセットマネジメント事業)



- ▶ 海外生保事業の修正利益は、米PLCの大幅な損益改善やDLVN(ベトナム)の利益拡大等により、前年同期+135%増加の437億円
- ▶ アセットマネジメント事業は、預り運用資産の増加等からAMOneが増益となったことにより、前年同期比+32%増加の28億円

海外生命保険事業 修正利益合計

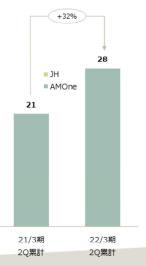


1)決算日が12月31日の子関連会社はPLC・DLVN・DLKH・DLMM・PDL・OLIの6社です

DLVN ⁽¹⁾ 他子関連 ⁽¹⁾	31 6	66 8	+ 114%
TAL	51	33	△ 34%
PLC ⁽¹⁾	97	328	+ 238%
(億円)	21/3期 2Q累計	22/3期 2Q累計	増減(%)

※他子関連会社はDLKH・DLMM・SUD・PDL・OLIの5社

その他事業(アセットマネジメント事業) 修正利益合計



(億円)	21/3期 2Q累計	22/3期 2Q累計	增减(%)
AMOne	20	28	+ 36%
JH	0	-	-
	21	28	+ 32%

[参考] 預り運用資産(兆円)

AMOne 54 5	i8 + 8%
------------	---------

※AMOneは当社の持分法適用関連会社 JHは保有株式の売却に伴い、現在の出資比率は0%(非連結)です



グループEEV (European Embedded Value)

EEV - ヨーロピアン・エンベディッド・バリュー (1)



- ▶ グループEEVは、金融市場が安定的に推移した結果、DLを中心に増加し、前期末比+7.0%(+4,894億円)増加の7兆4,606億円
- ▶ グループ新契約価値は、前年同期の営業自粛等に伴うDLの販売量減少等からの反動や海外各社の堅調な販売推移等により、709億円へ増加新契約マージンは、DLにおいて利益幅が非常に小さい保障見直しが増加したものの、前年同期比で個人保険販売量が増加したことや、海外各社の上昇により、3.26%

第一生命グループ

	21/3末	21/9末	増減
(億円)			
第一生命グループEEV	69,711	74,606	+4,894
対象事業 (covered business) のEEV ⁽¹⁾	69,971	74,102	+4,130
修正純資産	69,622	71,296	+ 1,674
保有契約価値	349	2,805	+ 2,455
対象事業以外の純資産等に係る調整(2)	△ 259	504	+764

(億円)	①21/3期 2Q累計 [基準変更前]	②21/3期 2Q累計 [変更後·概算値]	③22/3期 2Q累計	增減 (3-2)
グループ新契約価値 (A)	256	337	709	+372
収入保険料現価 (B)	13,900	14,030	21,724	+7,693
新契約マージン (A/B)	1.84%	2.40%	3.26%	+ 0.86pts

⁽¹⁾ 対象事業(covered business)とは、EEV原則で定められているEV手法を適用した範囲のことで、EEV原則では、対象事業のEEVを開示することを求めています 第一生命グループでは従前は、第一生命グループが行うすべての事業を対象事業としていましたが、2016年10月1日付の持株会社体制修行後は、生命保険事業を行う子会社(DL、DFL、NFL、米PLC、京TAL、DLVN(ベトナム)およびこれらの子会社)を対象事業としました

1;

^{(2)「}対象事業以外の純査産等に係る課整」には、第一生命ホールティングスの単体身借対領表の終査産の節(21/3末:13,674億円、21/9末:13,539億円)、第一生命ホールティングスの生命保険事業子会社6社に対する出資に係る課整(21/3末:△14,773億円、21/9末: △13,900億円)、第一生命ホールティングスが保有する資産・負債を時価評価する課整が含まれます

^{(3) 21/3}期より基準変更(円金利の超長期補外のための終局金利等の変更、DFLの負債評価に用いる割引率への社債スプレッドの反映)を実施しています

EEV - ヨーロピアン・エンベディッド・バリュー (2)



	1557
グループ各社(国内)の	

			(億円)					(億円)
第一生命	21/3末	21/9末	増減		①21/3期 2Q累計 [基準変更前]	②21/3期 2Q累計 [変更後·概算値]	③22/3期 2Q案計	增减 (③-②)
EEV	51,274	54,094	+2,820	新契約価値	238	211	362	+151
修正純資産	58,378	58,900	+522	収入保険料現価	5,841	5,966	8,447	+2,480
保有契約価値	△ 7,103	△ 4,805	+2,298	新契約マージン	4.09%	3.54%	4.30%	+ 0.76pts

第一フロンティア生命	21/3末	21/9末	増減		①21/3期 2Q累計 [基準変更前]	②21/3期 2Q累計 [変更後·概算值]	③22/3期 2Q累計	增减 (3-2)
EEV	5,875	5,843	△ 32	新契約価値	△ 74	39	23	△ 16
修正純資産	4,855	5,697	+842	収入保険料現価	2,873	2,873	4,806	+1,932
保有契約価値	1,020	146	△ 874	新契約マージン	△ 2.60%	1.39%	0.48%	△ 0.90pts
					(1) 24 / 2HB	@24 /2#B		

ネオファースト生命	21/3末	21/9末	増減		①21/3期 2Q累計 [基準変更前]	②21/3期 2Q累計 [変更後·概算値]	③22/3期 2Q累計	增减 (③-②)
EEV	1,672	1,825	+153	新契約価値	73	67	127	+60
修正純資産	208	175	△ 33	収入保険料現価	705	710	1,004	+294
保有契約価値	1,463	1,649	+186	新契約マージン	10.46%	9.54%	12.72%	+ 3.18pts
				新契約価値*	97		141	
				新契約マージン*	13.78%		14.04%	
				*均衡事業費ベース				

EEV - ヨーロピアン・エンベディッド・バリュー (3)



グループ各社(海外)のEEV

(億円)

米プロテクティブ	20/12末	21/6末	増減
EEV	6,240	7,337	+1,097
修正純資産	3,746	4,090	+343
保有契約価値	2,493	3,247	+753
※為替レート(円/米ドル)	103.50	110.58	

豪TAL	21/3末	21/9末	増減
EEV	4,127	3,985	△ 142
修正純資産	2,161	2,028	△ 133
保有契約価値	1,966	1,957	△ 8
※ 為替し、一ト (田/夏ドル)	84 36	80.46	

第一生命ベトナム	20/12末	21/6末	増減
EEV	994	1,194	+200
修正純資産	484	584	+99
保有契約価値	509	610	+100
※ 海替レート (円/載下ン)	0.0045	0.0048	

			(億円)
	20/12期 2Q累計	21/12期 2Q累計	増減
新契約価値	△ 63	41	+105
収入保険料現価	3,211	5,824	+2,612
新契約マージン	△ 1.98%		+ 2.70pts
※為替レート (円/米ドル)	107.74	110.58	

	21/3期 2 Q累計	22/3期 2 Q累計	増減
新契約価値	39	61	+22
収入保険料現価	846	930	+83
新契約マージン	4.62%	6.66%	+ 2.04pts
※ 海越し ニト (田/豪ドル)	75.40	20.46	

	20/12期 2 Q累計	21/12期 2 Q累計	増減
新契約価値	42	91	+48
収入保険料現価	421	711	+289
新契約マージン	10.16%	12.86%	+ 2.70pts
※ 海巷しニト (田/越下)	n nn46	n nn48	

第一生命グループ及び第一生命のEEV感応度(2021年9月末)



第一生命グループ

(単位:億円、上段:変化額、下段: EEVに対する変化率)

[対象事業のEEV感応度の内訳]

	対象事業のEEV	純資産等に係る調整	新契約価値	修正純資産	保有契約価値
+2,263	+2,153	+109	+46	△ 15,922	+18,076
+3%	+3%	+0%	+7%	△ 21%	+24%
△ 3,522	△ 3,408	△ 113	△ 66	+17,470	△ 20,879
△ 5%	△ 5%	△ 0%	△ 9%	+23%	△ 28%
△ 4,899	△ 4,732	△ 167	△ 5	△ 4,458	△ 274
△ 7%	△ 6%	△ 0%	△ 1%	△ 6%	△ 0%
	+3% △ 3,522 △ 5% △ 4,899	+3% +3% △ 3,522 △ 3,408 △ 5% △ 5% △ 4,899 △ 4,732	+2,263 +2,153 +109 +3% +3% +0% △ 3,522 △ 3,408 △ 113 △ 5% △ 5% △ 0% △ 4,899 △ 4,732 △ 167	+2,263 +2,153 +109 +46 +3% +3% +0% +7% △ 3,522 △ 3,408 △ 113 △ 66 △ 5% △ 5% △ 0% △ 9% △ 4,899 △ 4,732 △ 167 △ 5	$+2,263$ $+2,153$ $+109$ $+46$ $\triangle 15,922$ $+3\%$ $+3\%$ $+0\%$ $+7\%$ $\triangle 21\%$ $\triangle 3,522$ $\triangle 3,408$ $\triangle 113$ $\triangle 66$ $+17,470$ $\triangle 5\%$ $\triangle 5\%$ $\triangle 0\%$ $\triangle 9\%$ $+23\%$ $\triangle 4,899$ $\triangle 4,732$ $\triangle 167$ $\triangle 5$ $\triangle 4,458$

74,102

第一生命

(単位:億円、上段:変化額、下段: EEVに対する変化率)

第一生命グループのEEV

[EEV感応度の内訳]

709

504

前提条件	EEV感応度	新契約価値	修正純資産	保有契約価値
フカ・フ ・ ト E O b p ト 見	+2,026	+37	△ 14,169	+16,196
リスク・フリー・レート50bp上昇	+4%	+10%	△ 26%	+30%
UZA ZU LI LEOL-MT	△ 3,234	△ 51	+15,604	△ 18,838
リスク・フリー・レート50bp低下	△ 6%	△ 14%	+29%	△ 35%
株式·不動産価値10%下落	△ 4,583	-	△ 4,583	-
(水工V: / N型)/生1山1位10分0 [)各	△ 8%	-	△ 8%	-
第一生命のEEV	54,094	362		

74,606

資産・負債の対応を考慮したEEVの再分類



第一生命グループのEEV(億円)				資産・負債の対応を考慮した再分類			
(億円)	21/3末	21/9末	増減	(億円)	21/3末	· 21/9末	増減
第一生命グループEEV	69,711	74,606	+4,894		69,711	74,606	+4,894
対象事業(covered business)のEEV	69,971	74,102	+4,130	確定利付資産以外の含み損益等(3)	22,575	24,098	+1,522
修正純資産	69,622	71,296	+1,674	保有契約価値+確定利付資産の含み損益等 ⁽⁴⁾	25,178	28,089	+2,910
保有契約価値	349	2,805	+2,455	純資産等+負債中の内部留保 ⁽⁵⁾	21,957	22,418	+460
対象事業以外の純資産等に係る調整	△ 259	504	+764				

資産・負債の対応を考慮した再分類による第一生命グループEEVの推移



保有契約価値+含み損益等: 保険契約の保有により生じる将来利益

確定利付資産以外の含み損益等(3)

保有契約価値+確定利付資産の含み損益等(4)

純資産等+負債中の内部留保(5) : 実現利益の累積額に相当

- (1)終局金利を用いた方法による再評価後の数値を記載 (2) 21/3期より基準変更(円金中)均差周期補外のための終局金利等の変更、DFLの負債評価に用いる割引率への社債スプッドの反映)を実施 (3) DLが保有る確定利付資産以外の資産 (株式、外資連供券(ヘシテ)債を除く)、不動産等)の含み損益等の額を計上 (4) 保有契引価値に、DLの確定利付資産おりだDFLおよびNFLの資産の含み用益等を加申。課盤、た該を計上 本項目は、未実期料金万分、主に全利の経営を受ける思りため、全利や無常の変化に応じた、保有契引価値はよび確定利付資産の含み規益等の変動額は、お互いに相談関係にあります (5) 対象事業のEEVの修正経資産に対象事業以外の経資産等に係る調整を反映、含み損益等を除いた該を計上

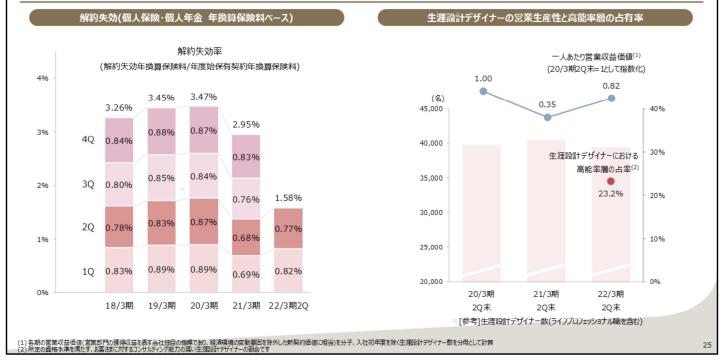


参考データ

_

[第一生命] 営業関連指標 - 解約失効・営業職数および生産性





[第一生命] 資産運用の状況① - 資産運用収益・費用の内訳



利息・配当金等収入の内訳

(億円) 利息・配当金等収入	21/3期 2Q累計 4.120	22/3期 2Q累計 4.252	前年同期比 + 132	(%)
公社債	1,364	1,339	△ 25	△ 2%
株式	284	369	+ 84	+ 30%
外国証券	1,529	1,600	+ 70	+ 5%
その他の証券	352	360	+ 7	+ 2%
貸付金	191	196	+ 4	+ 2%
不動産	368	350	∧ R	△ 2%

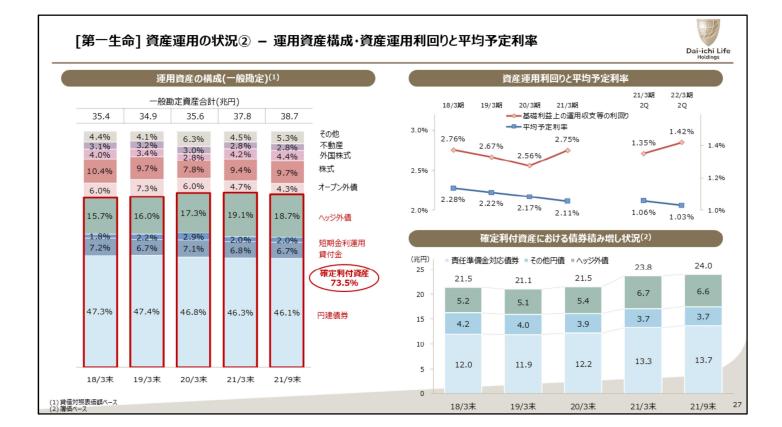
[参考] 21/3期 有価証券運用利回り

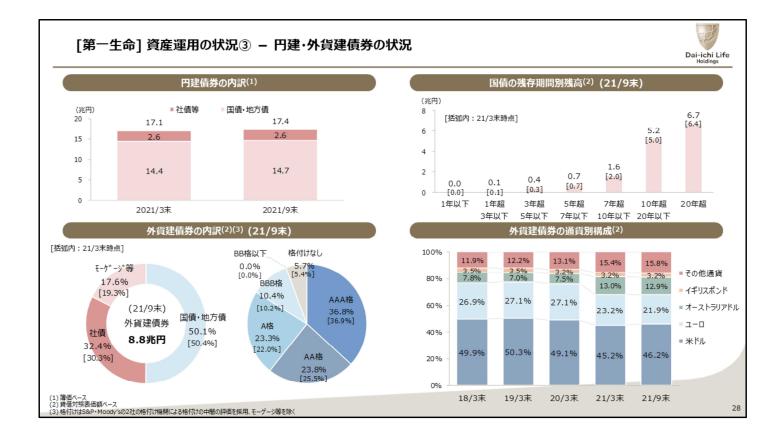
(億円)	利息·配当金等収入	日々平均残高	利回り ⁽¹⁾
一般勘定計	8,365	347,532	2.41%
公社債	2,729	159,348	1.71%
株式	600	15,101	3.98%
外国証券	3,322	105,966	3.13%
その他の証券	530	6,771	7.83%
貸付金	391	25,723	1.52%
不動産(2)	737	7,795	9.45%

有価証券売却損益・有価証券評価損の内訳

(億円)	21/3期 2Q累計	22/3期 2Q累計	前年同期比	(%)
有価証券売却益	1,319	1,674	+ 355	+ 27%
公社債	426	622	+ 196	+ 46%
株式	236	425	+ 188	+ 80%
外国証券	647	597	△ 50	△ 8%
その他の証券	8	29	+ 20	+ 229%
有価証券売却損	430	757	+ 326	+ 76%
公社債	3	45	+ 41	+ 1,288%
株式	10	48	+ 38	+ 385%
外国証券	279	485	+ 205	+ 74%
その他の証券	137	177	+ 40	+ 29%
有価証券売却損益	888	917	+ 28	+ 3%
有価証券評価損	79	21	△ 57	△ 73%
公社債	-	-	-	-
株式	46	20	△ 26	△ 56%
外国証券	32	1	△ 31	△ 96%
その他の証券	-	-	-	-

(1)利息・配当金等収入を分子、日々平均残高を分母として計算 (2)投資用不動産



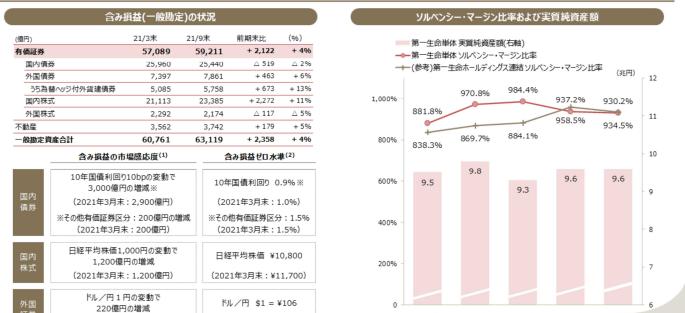


[第一生命] 健全性指標 - 含み損益とソルベンシー・マージン比率

(2021年3月末:240億円)

(1)各指標に対応する資産の時価総額の弧成度 (2)各指標に対応する資産の含み視益がむいなる水準であり、外国証券はドル円機能にて貸出した、為替要因のみの含み根益がむになる水準





(2021年3月末:¥105)

18/3末

19/3末

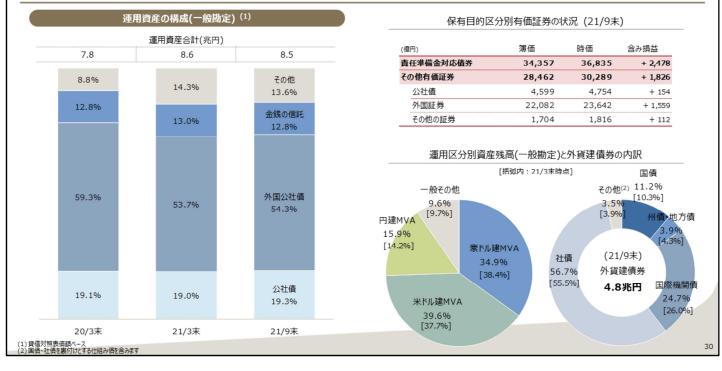
20/3末

21/3末

21/9末

[第一フロンティア生命] 資産運用の状況 - 運用資産構成





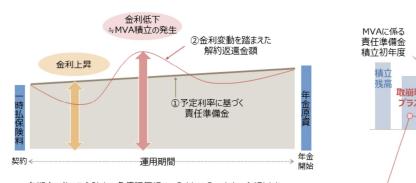
MVA(市場価格調整)関連損益について



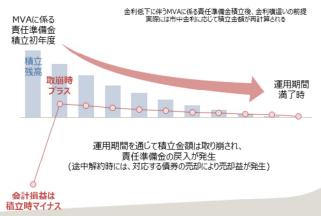
- ▶ MVA(市場価格調整)付き商品の負債は、会計上、金利低下により「金利変動を踏まえた解約返還金額」が「予定利率に基づく責任準備金」を上回る場合、差額の責任準備金の積立が発生
- ▶ MVAに係る損益は、期間を通算すれば収支への影響はニュートラルなことから、グループ修正利益には含めない

MVAに係る責任準備金の積立発生(イメージ)

MVAに係る責任準備金残高と会計損益への影響(イメージ)



各期末における会計上の負債評価額は、①または②の大きい金額となり、 金利低下により②>①となる場合、差額の責任準備金の積立を実施



[米プロテクティブ・豪TAL] 営業の状況 - セグメント別営業業績



米プロテクティブ 営業業績					
(百万米ドル)	20/12期 2Q累計	21/12期 2Q累計	前年同期比	(%)	
リテール保険&年金事業	1,244	1,993	+ 749	+ 60%	
伝統的保険	118	132	+ 14	+ 12%	
ユニバーサル保険	22	38	+ 16	+ 73%	
BOLI/COLI ⁽¹⁾	-	519	+ 519		
定額年金	1,011	809	△ 202	△ 20%	
変額年金	93	495	+ 402	+ 432%	
ステーブルバリュー事業	1,003	2,710	+ 1,707	+ 170%	
アセットプロテクション事業	228	376	+ 148	+ 65%	

豪TAL 営業業績 ⁽²⁾					
(百万豪ドル)	21/3期 2Q累計	22/3期 2Q累計	前年同期比	(%)	
新契約年換算保険料	58	66	+ 7	+ 14%	
(TAL) 個人保険	38	43	+ 4	+ 13%	
団体保険	18	22	+ 4	+ 27%	
アステロン・ライフ	2	0	△ 1	△ 83%	
既契約增減	△ 54	186	+ 240		
(TAL) 個人保険	56	94	+ 37	+ 67%	
団体保険	△ 178	49	+ 228		
アステロン・ライフ	67	42	△ 25	△ 37%	

※既契約増減は契約更新や料率改定等に伴う既契約の年換算保険料の増減を示す

⁽¹⁾ BOLI(Bank Owned Life Insurance)/COLI(Corporate Owned Life Insurance)と呼ばれる。契約者・受取人を法人、被保険者を従興見とする福利厚生等を目的とした生命保険です 21/12期1Qより、PLCのリテール保険&年金書菓において販売したBOLI/COLI商品の実施で記載しています (2) 21/3期1Qより新契約年換算保険40計上基準を変更し、従来金めていた既契約増高を除いています

[米プロテクティブ] 資産運用の状況 - 運用資産構成 Dai-ichi Life Holdings 運用資産の構成(一般勘定) ⁽¹⁾ 商業モーゲージローンの状況 運用資産合計(十億米ドル) 20/12末 21/6末 増減 84.6 88.7 90.0 商業モーゲージローン(引当前) 10,227 10,424 その他 6.3% 不良債権 6.7% 0.7% 5.9% 0.8% 2 0 Δ1 株式 0.8% 貸倒引当金 136 △ 85 商業モーゲージローン 11.3% 11.1% (対ローン残高) 2.2% 1.3% △ 0.86pts 11.4% 確定利付資産の内訳および格付構成 [括弧内:20/12末時点] BB以下 その他 国債等 3.8% [3.8%] AAA/AA格 0.4% [0.3%] 8.6% 22.5% [23.2%] [9.7%] 確定利付資産 82.0% 81.6% 81.5% RMBS/CMBS等 15.6% [15.6%] (21/6末) 確定利付資産 BBB格 42.2% [39.4%] 73.4十億米ドル **75**.4% [74.4%] 19/12末 20/12末 21/6末 31.5%

(1) 貸借対照表価額ベース

[33.6%]

グループ修正利益



(億円)			No.	13/3期	14/3期	15/3期	16/3期	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期 2Q累計	21/3期	22/3 2Q累
国内生命保険事業														
第一生命	当期利益		1	514	855	1,521	1,291	1,171	1,699	1,729	1,286	512	1,960	
	調整 (1)	危険準備金繰入額(法定超過分、税後)	2	499	249	192	129	129	-	-	216		△216	
	調整 (2)	価格変動準備金繰入額(法定超過分、税後)	3		97		-		-	*				
	調整 (3)	MVA(市場価格調整)関連損益(税後)	4	0	△6	△2	△4	△2	△0	△0	△0	△0	△0	
	調整 (4)	持分変動益	5	-	-		-	^	-	△14	-	-		
	調整額合計		6	499	340	189	125	127	△0	△14	216	△0	△216	
	修正利益		7	1,013	1,195	1,711	1,416	1,299	1,698	1,714	1,502	512	1,744	
第一フロンティア生命	当期利益		8	△ 265	△152	△219	243	502	370	199	△1,000	231	863	
	調整 (1)	危険準備金繰入額 (法定超過額、税後)	9	153	-	*	-	-	-	-	△300		480	
	調整 (2)	価格変動準備金繰入額(法定超過額、税後)	10		-	2	-	-	-	-				
	調整 (3)	MVA(市場価格調整)関連損益(税後)	11	1	△9	469	75	△270	△ 79	7	1,935	△8	△772	
	調整額合計		12	154	△9	469	75	△270	△79	7	1,635	△8	△292	
	修正利益		13	△111	△161	249	318	232	291	207	634	222	571	
ネオファースト生命	当期利益		14		*	4	△71	△ 59	△83	△85	△163	△77	△141	
	修正利益		15		4	4	△71	△ 59	△83	△85	△163	△77	△141	
国内生命保険事業修	正利益		16	902	1,034	1,966	1,664	1,471	1,906	1,836	1,974	658	2,174	1
海外生命保険事業														
プロテクティブ	修正利益		17				323	457	349	335	507	97	374	
TAL	修正利益		18	89	86	121	103	127	105	98	110	51	152	
第一生命ベトナム	修正利益		19	5	10	13	5	5	△ 20	2	60	31	59	
海外生命保険事業修	正利益		20	98	108	157	457	615	468	469	703	185	602	
Dai-ichi Re	修正利益		21		-	-			-		-	-	-	
その他事業(アセットマネジメ	ント事業) 修正利益		22	18	44	61	59	58	53	104	120	21	99	
持株会社·中間持株会社	修正利益		23					0	3	△35	△44	△20	△40	
連結調整	調整 (1)	受取配当相殺	24	17	27	36	135	44						
	調整 (2)	TAL優先株配当	25							10	8	3	7	
	烱整 (3)	のれん債却額	26	38	51	86	63	56	70	82	564	27	57	
	調整 (4)	持分変動益 (第一生命)	27			*			-	14				
	調整 (5)	持分変動益 (持株会社)	28			λ.		△124	△335	4			△349	
	調整 (6)	米国法人税減税	29						△901				-	
	調整 (7)	その他	30	△14	△1	△22	△3	0	39	23	5	△10	△8	
グループ修正利益(項番	31=16+20+21+22+2	3-24-25)	31	1,000	1,160	2,147	2,046	2,101	2,432	2,363	2,745	841	2,828	1
	2=31-6-12-26-27-		32										3,637	

[再掲] 修正ROE定義および過去実績



修正ROE = [分子] 修正利益 ÷ [分母] 修正ROE用純資産(年度始·年度末平均)

修正ROE用純資産 = 純資産 - のれん - 確定利付資産含み損益(税後)* + 第一フロンティア生命におけるMVA残高(税後)

2017 2018

確定利付資産含み損益(1)のうち、その他有価証券評価差額金に計上される金額(税後)その他有価証券評価差額金 * 第一生命・ネオファースト生命: 第一フロンティア生命・プロテクティブ:

2019 2020

修正ROE過去実績

グループ修正ROE

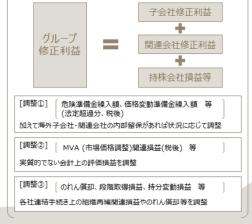
ープ修正ROE	8.6%	8.5%	7.6%	9.5%	8.9%
分子 (修正利益)	2,101	2,432	2,363	2,745	2,828
分母 (年度始·年度末平均)	24,485	28,565	30,958	28,753	31,72
分母 (年度末)	26,123	31,008	30,907	26,599	36,84
[分母算出]					
純資産	31,360	37,479	37,124	37,758	48,06
(-) のれん	579	514	489	394	42
(-)確定利付資産含み損益	4,771	6,035	5,956	12,588	12,00
(+) [第一フロンティア生命] MVA残高	113	79	228	1,824	1,21
修正ROE用純資産	26,123	31,008	30,907	26,599	36,84
うち株主資本	13,007	15,896	17,088	16,415	18,93
4 A 1977					
生命 修正ROE	5.8%	8.0%	7.6%	7.9%	8.49
生命 修正ROE 分子(修正利益)	5.8% 1,254	8.0% 1,698	7.6%	7.9%	8.49
					1,74
分子 (修正利益)	1,254	1,698	1,714	1,502	1,74 20,77
分子 (修正利益) 分母 (年度始·年度未平均)	1,254 21,548	1,698 21,274	1,714 22,436	1,502 19,138	1,74 20,77
分子 (修正利益) 分母 (年度始·年度末平均) 分母 (年度末)	1,254 21,548	1,698 21,274	1,714 22,436	1,502 19,138	
分子 (修正利益) 分母 (年度始·年度末平均) 分母 (年度末) [分母舅出]	1,254 21,548 19,453	1,698 21,274 23,096	1,714 22,436 21,777	1,502 19,138 16,500	1,74 20,77 25,04
分子 (修正利益) 分母 (作度取): 作度末平均) 分母 (作度末) [分母舅出] 純貞産	1,254 21,548 19,453 24,816	1,698 21,274 23,096	1,714 22,436 21,777 28,852	1,502 19,138 16,500	1,74 20,77 25,04 31,90

(1)主に円建債券・買入金銭債券・為替へツシ付外負建債券・確定利付資産を主たる投資対象とする投資信託等の含み規益を定義としています

2016

(億円 / %)





株主還元方針 Dai-ichi Life 3/31公表 [追加還元方針の早期適用] 株主還元方針 株主還元の推移 2,000億円(1) 追加還元検討における考慮要素 機動的・柔軟な 総還元性向の目安 40%(2) 追加還元の検討 中期平均 50% 資本充足率(ESR)水準 市場関連リスク・感応度削減の状況 (21/3期より) [自己株式消却方針] 使途が見込まれない自己株式は保有しないものとい、 使途が見込まれない自己株式を保有している状態が生じた場合には、 適切な時期に自己株式の消却を行います (億円) 持株会社キャッシュの状況 グループ財務レバレッジ 総還元性向 300 280 ■自己株式取得 390 230 ■配当総額 戦略投資機会の有無 当社株価等 160 150 約<mark>83</mark>0 702 690 666 総還元性向の 推移イメージ 507 416 335 160 160 160 200 追加還元の規模・タイミング等は戦略的に判断 11/3期 13/3期 22/3期 15/3期 17/3期 19/3期 21/3期 実績 予想 グループ修正利益 2,101 2,432 2,363 2,745 2,828 2,700 過去3年平均 **2,757**

(円/株)

16 16 16

■1株あたり配当金⁽³⁾

20

80

36

50 58 62

[配当性向の推移イメージ]

[配当性向] 毎期 30%以上

グループ修正利益過去3年平均をベース 1株あたり配当の減配は原則行わない

(1)2021年3月31日取締役会において決議した自己株式取得の上限金額 (2)DLにおける金融派生商品の一時的な上振れ要因等を控除した実質的なグループ修正利益水準を基に弊出 (3)13/3期以前については株式分割後の独算値

第一生命グループ - 連結財務諸表(要約)



(億円)	21/3期 2Q累計	22/3期 2Q累計	増減
経常収益	33,631	37,657	+ 4,02
保険料等収入	21,012	24,228	+ 3,21
資産運用収益	11,526	11,180	△ 34
利息·配当金等収入	6,788	6,898	+ 10
有価証券売却益	1,900	1,927	+ 2
金融派生商品収益	-	-	
為替差益	1,276	-	△ 1,27
特別勘定資産運用益	1,275	632	△ 64
その他経常収益	1,092	2,248	+ 1,15
経常費用	32,003	34,795	+ 2,79
保険金等支払金	21,879	27,420	+ 5,54
責任準備金等繰入額	3,018	41	△ 2,97
資産運用費用	2,479	2,185	△ 29
有価証券売却損	437	764	+ 32
有価証券評価損	167	16	△ 15
金融派生商品費用	602	428	△ 17
為替差損	-	474	+ 47
特別勘定資産運用損	-	-	
事業費	3,271	3,636	+ 36
経常利益	1,628	2,862	+ 1,23
特別利益	4	1	Δ:
特別損失	134	163	+ 2
契約者配当準備金繰入額	368	357	△ 1
税金等調整前中間純利益	1,130	2,343	+ 1,21
法人税等合計	296	558	+ 26
非支配株主に帰属する中間純利益	-	-	
親会社株主に帰属する中間純利益	833	1,784	+ 95

連結 員借対 照表					
(億円)	21/3末	21/9末	増減		
資産の部合計	635,937	657,888	+ 21,951		
現預金・コール	22,878	22,601	△ 276		
買入金銭債権	2,521	2,638	+ 117		
有価証券	508,799	524,096	+ 15,297		
貸付金	37,626	38,880	+ 1,254		
有形固定資産	11,132	11,179	+ 46		
繰延稅金資産	120	87	△ 32		
負債の部合計	587,865	608,020	+ 20,154		
保険契約準備金	510,514	518,440	+ 7,926		
責任準備金	498,972	506,522	+ 7,549		
社債	8,997	8,027	△ 969		
その他負債	46,712	59,840	+ 13,127		
退職給付に係る負債	4,185	4,201	+ 16		
価格変動準備金	2,644	2,762	+ 117		
繰延稅金負債	5,583	6,268	+ 684		
純資産の部合計	48,071	49,867	+ 1,796		
株主資本合計	18,936	19,165	+ 229		
その他の包括利益累計額合計	29,125	30,695	+ 1,569		
その他有価証券評価差額金	30,563	31,682	+ 1,118		
土地再評価差額金	△220	△240	△ 20		

以下の項目については、責任準備金の戻入/接入や閉連する音座の含み益/損等と相談されるものを含む (特別勘定資産運用益/規、為替差益/規、金融派生商品収益/費用)

3/

第一生命 - 財務諸表(要約)



(億円)	21/3期 2Q累計	22/3期 2Q累計	増減
経常収益	17,821	21,435	+ 3,613
保険料等収入	10,865	10,983	+ 117
資産運用収益	6,231	6,515	+ 283
利息·配当金等収入	4,120	4,252	+ 132
有価証券売却益	1,319	1,674	+ 355
金融派生商品収益	-	-	
特別勘定資産運用益	675	466	△ 208
その他経常収益	724	3,936	+ 3,212
経常費用	16,628	19,636	+ 3,007
保険金等支払金	9,187	14,653	+ 5,466
責任準備金等繰入額	1,953	165	△ 1,787
資産運用費用	2,414	1,604	△ 810
有価証券売却損	430	757	+ 326
有価証券評価損	79	21	△ 57
金融派生商品費用	1,262	238	△ 1,024
為替差損	264	180	△ 84
特別勘定資産運用損	-	-	
事業費	1,964	2,032	+ 67
経常利益(△は損失)	1,193	1,799	+ 605
特別利益	4	1	△ 2
特別損失	106	134	+ 28
契約者配当準備金繰入額	368	357	△ 11
税引前中間純利益(△は損失)	72 3	1,309	+ 585
法人税等合計	210	374	+ 164
中間純利益(△は損失)	512	934	+ 421

1	貸借対照表		
(億円)	21/3末	21/9末	増減
資産の部合計	389,243	398,885	+ 9,642
現預金・コール	7,838	7,898	+ 60
買入金銭債権	2,521	2,562	+ 40
有価証券	334,670	341,771	+ 7,10
貸付金	25,760	26,001	+ 24:
有形固定資産	10,861	10,897	+ 3
繰延税金資産	-	-	
負債の部合計	357,341	366,249	+ 8,908
保険契約準備金	308,444	305,303	△ 3,14
責任準備金	302,953	299,754	△ 3,19
危険準備金	5,998	5,998	
社債	4,762	3,687	△ 1,07
その他負債	33,402	45,630	+ 12,22
退職給付引当金	4,001	4,038	+ 3
価格変動準備金	2,334	2,424	+ 9
繰延稅金負債	3,122	3,922	+ 79
純資産の部合計	31,902	32,636	+ 733
株主資本合計	6,791	5,659	△ 1,13
評価·換算差額等合計	25,110	26,976	+ 1,86
その他有価証券評価差額金	25,366	27,213	+ 1,84
土地再評価差額金	△220	△240	△ 20

以下の項目については、責任準備金の戻入/投入や眺望する音座の含み益/損等と相談されるものを含む (特別勘定資産運用益/損、為替差益/損、全融派生商品収益/費用)

第一フロンティア生命 - 財務諸表(要約)



損	益計算書		
(億円)	21/3期 2Q累計	22/3期 2Q累計	増減
経常収益	8,589	8,710	+ 120
保険料等収入	3,968	6,279	+ 2,31
資産運用収益	4,620	1,218	△ 3,40
最低保証リスクに対するヘッジ利益	-	-	
為替差益	1,540	-	△ 1,54
経常費用	8,289	8,144	△ 14
保険金等支払金	7,555	7,375	△ 18
責任準備金等繰入額	493	-	△ 49
最低保証リスクに係る責任準備金繰入額	∆36	17	+ 5
危険準備金繰入額	∆3	7	+ 1
資産運用費用	6	485	+ 47
最低保証リスクに対するヘッジ損失	52	7	△ 4
為替差損	-	296	+ 29
事業費	197	236	+ 3
経常利益	300	565	+ 26
特別利益	-	-	
特別損失	28	27	Δ (
法人税等合計	41	81	+ 40
中間純利益(△は損失)	231	456	+ 224
【参考】			
中間純利益(△は損失)	231	456	+ 22
基礎利益・最低保証リスクヘッジ損益(1)	231	205	△ 2
その他キャピタル・その他臨時損益	112	122	+ 1
MVA(市場価格調整)関連損益 ⁽²⁾	△46	244	+ 29
危険/価格変動準備金繰入/戻入額·法人税等合計	△65	△116	△ 5

貸借対照表					
(億円)	21/3末	21/9末	増減		
資産の部合計	96,989	94,993	△ 1,99		
現預金・コール	7,901	7,495	△ 40		
有価証券	75,143	74,232	△ 91		
負債の部合計	94,167	91,858	△ 2,30		
保険契約準備金	82,133	80,921	△ 1,21		
責任準備金	81,894	80,696	△ 1,19		
(MVA残高)	1,692	1,485	△ 20		
	1,113	1,120	+		
純資産の部合計	2,821	3,135	+ 314		
株主資本合計	1,363	1,820	+ 45		
資本金	1,175	1,175			
資本剰余金	675	675			
利益剰余金	△486	△29	+ 45		
その他有価証券評価差額金	1,457	1,315	△ 14		

⁽¹⁾ 最低保証リスクに開達した押益には、最低保証リスクに係る責任準備金積入額及び同ヘッシ押益に加え、 安額商品の危険保険料や最低保証に係る支払、再保険収支等を含纹21/3期2Q: △5億円、22/3期2Q: △2億円) (2) MVA(市場価格課整)に係る責任準備金積入/戻入のうち、資産運用押益制定で相殺され、総常利益に影響を及ばさない 部分は除く

以下の項目については、責任準備金の戻入/線入や閉連する資産の含み益/損等と相殺されるものを含む (特別勘定資産運用益/損 為替差益/損 金融派生商品収益/費用)

米プロテクティブ - 財務諸表(要約)⁽¹⁾



損益計算書				
20/12期 2Q累計	21/12期 2Q累計	増減		
4,938	7,253	+ 2,314		
2,911	3,110	+ 19		
1,644	2,963	+ 1,318		
382	1,179	+ 790		
4,826	6,891	+ 2,064		
2,937	3,159	+ 22		
73	2,930	+ 2,850		
1,232	64	△ 1,16		
462	566	+ 10		
119	170	+ 5:		
112	362	+ 249		
-	-			
0	0	+ (
21	63	+ 4		
90	297	+ 207		
	20/12期 2Q累計 4,938 2,911 1,644 382 4,826 2,937 73 1,232 462 119 112 -	20/12期 2Q累計 21/12期 2Q累計 4,938 7,253 2,911 3,110 1,644 2,963 382 1,179 4,826 6,891 2,937 3,159 73 2,930 1,232 64 462 566 119 170 112 362 - - 0 0 21 63		

(百万米ドル)	20/12末	21/6末	増減
資産の部合計	126,908	130,427	+ 3,519
現預金	814	639	△ 174
有価証券	87,534	89,864	+ 2,330
貸付金	11,825	11,980	+ 154
有形固定資産	218	216	△ 1
無形固定資産	3,167	3,364	+ 197
ወれん	825	956	+ 131
その他の無形固定資産	2,309	2,374	+ 65
再保険貸	14,784	15,605	+ 820
負債の部合計	115,552	119,692	+ 4,140
保険契約準備金	105,121	108,665	+ 3,543
再保険借	486	478	△ 7
社債	1,670	1,669	△ 1
その他負債	6,329	7,110	+ 780
純資産の部合計	11,355	10,735	△ 620
株主資本合計	7,848	7,964	+ 116
その他の包括利益累計額合計	3,507	2,770	△ 736

貸借対照表

(1)米国の会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示

豪TAL - 財務諸表(要約)^⑴



頂益計算書					
(百万豪ドル)	21/3期 2Q累計	22/3期 2 Q累計	増減		
経常収益	3,326	3,279	△ 46		
保険料等収入	2,899	3,112	+ 213		
資産運用収益	210	116	△ 93		
その他経常収益	217	50	△ 166		
経常費用	3,227	3,216	△ 10		
保険金等支払金	2,474	2,481	+ 6		
責任準備金等繰入額	203	141	△ 62		
資産運用費用	18	20	+ 2		
事業費	438	475	+ 36		
その他経常費用	92	98	+ 5		
経常利益(△は損失)	98	63	△ 35		
特別損益	-	-	-		
法人税等合計	35	25	△ 10		
中間純利益(△は損失)	63	37	△ 25		
基礎的収益力	66	152	+ 86		

/王丁章 leu \	21/3末	21/9末	増減
(百万豪ドル) 資産の部合計	13,269	13,794	+ 525
現預金	1,000	1,101	+ 101
有価証券	6,902	6,837	△ 65
有形固定資産	33	31	△ 2
無形固定資産	1,066	1,053	△ 13
σηλ	786	786	
その他無形固定資産	280	266	△ 13
再保険貸	179	198	+ 18
その他資産	3,946	4,469	+ 523
繰延税金資産	140	104	△ 36
負債の部合計	9,992	10,549	+ 557
保険契約準備金	7,919	8,421	+ 501
再保険借	684	811	+ 127
社債	243	241	△ 2
その他負債	1,144	1,074	△ 69
繰延税金負債	-	-	
純資産の部合計	3,276	3,244	△ 32
株主資本合計	3,276	3,244	△ 32
資本金	2,130	2,130	-
利益剰余金	1,146	1,114	△ 32

貸借対照表

(1)オーストラリアの会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示

第一生命ベトナム - 財務諸表(要約)(1)



	損益計算書			
(+億越ドン)	20/12期 2Q累計	21/12期 2Q累計	増減	
経常収益	7,652	10,309	+ 2,656	
保険料等収入	6,798	9,224	+ 2,425	
資産運用収益	852	1,083	+ 230	
その他経常収益	0	1	+ 0	
経常費用	6,805	8,573	+ 1,767	
保険金等支払金	1,204	1,707	+ 502	
責任準備金等繰入額	2,324	2,384	+ 59	
資産運用費用	8	0	△ 7	
事業費	3,223	4,438	+ 1,214	
その他経常費用	44	42	△ 1	
経常利益(△は損失)	846	1,735	+ 889	
特別利益	1	2	+ 0	
特別損失	0	0	+ 0	
法人税等合計	171	348	+ 177	
中間純利益(△は損失)	675	1,388	+ 712	

Allivinix								
(十億越ドン)	20/12末	21/6末	増減					
資産の部合計	37,400	40,923	+ 3,522					
現預金	8,782	10,247	+ 1,465					
有価証券	22,705	25,024	+ 2,318					
貸付金	800	875	+ 74					
有形固定資産	100	84	△ 15					
無形固定資産	51	45	△ 6					
再保険貸	-	-	-					
負債の部合計	26,683	28,817	+ 2,134					
保険契約準備金	24,130	26,515	+ 2,384					
再保険借	37	114	+ 76					
その他負債	2,511	2,184	△ 327					
純資産の部合計	10,717	12,105	+ 1,388					
株主資本合計	10,717	12,105	+ 1,388					

(1)ベトナムの会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示

主要子会社別損益計算書(要約)



(億円)	21/3期 2Q累計	第一生命 22/3期 2Q架計	増減	21/3期	フロンティア生 22/3期 2Q累計	命増減	ネ7 21/3期 2Q累計	tファースト生命 22/3期 2Q累計	増減	20/12期	プロテクティフ 21/12期 2Q累計	増減		豪TAL 22/3期 2Q累計	增減	20/12期 2	-生命ベトナ <i>!</i> 21/12期 2Q累計	増減		連結 22/3期 2Q累計	增減
経常収益	17,821	21,435	+ 3,613	8,589	8,710	+ 120	730	895	+ 164	5,320	8,020	+ 2,699	2,510	2,638	+ 127	351	494	+ 142	33,631	37,657	+ 4,026
保険料等収入	10,865	10,983	+ 117	3,968	6,279	+ 2,310	729	893	+ 163	3, 136	3,439	+ 302	2,188	2,504	+ 316	312	442	+ 130	21,012	24,228	+ 3,215
資産運用収益	6, 231	6,515	+ 283	4,620	1,218	△ 3,401	1	2	+ 1	1,771	3,276	+ 1,505	158	93	△ 64	39	51	+ 12	11,526	11,180	△ 345
利息·配当金等収入	4,120	4,252	+ 132	900	835	△ 65	1	1	+ 0	1,719	1,743	+ 24	7	△1	△ 8	39	46	+ 7	6,788	6,898	+ 109
有個证券売却益	1,319	1,674	+ 355	530	208	△ 322	-	0	+ 0	50	44	△ 6	-	-	-	-	-	-	1,900	1,927	+ 27
金融派生商品収益	-	-	-	882	-	△ 882	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
為替差益	-	-	-	1,540	-	△ 1,540	-	-	-	-	-	-	4	0	Δ4	-	-	-	1,276	-	△ 1,276
特別軌定資産運用品	675	466	△ 208	600	165	△ 435	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1,275	632	△ 643
その他経常収益	724	3,936	+ 3,212	0	1,212	+ 1,212	0	0	+ 0	411	1,304	+ 892	163	40	△ 123	0	0	+ 0	1,092	2,248	+ 1,156
経常費用	16,628	19,636	+ 3,007	8,289	8,144	△ 144	808	929	+ 121	5,199	7,620	+ 2,420	2,436	2,588	+ 151	313	411	+ 98	32,003	34,795	+ 2,792
保険金等支払金	9, 187	14,653	+ 5,466	7,555	7,375	△ 180	238	439	+ 201	3, 165	3,493	+ 328	1,867	1,996	+ 128	55	81	+ 26	21,879	27,420	+ 5,541
責任準備金等線入額	1,953	165	△ 1,787	493	-	△ 493	434	322	△ 112	79	3,240	+ 3,160	153	113	△ 39	106	114	+ 7	3,018	41	△ 2,977
資産運用費用	2,414	1,604	△ 810	6	485	+ 478	0	0	△ 0	1,328	71	△ 1,256	13	16	+ 2	0	0	△ 0	2,479	2,185	△ 293
有個证券売却損	430	757	+ 326	1	6	+ 4	-	-	-	5	1	Δ3	-	-	-	-	-	-	437	764	+ 327
有值证券評価捐	79	21	△ 57	-	-	-	-	-	-	88	△5	△ 93	-	-	-	-	-	-	167	16	△ 151
金融派生商品費用	1,262	238	△ 1,024	-	178	+ 178	-	-	-	222	10	△ 211	-	-	-	-	-	-	602	428	△ 174
為替差損	264	180	△ 84	-	296	+ 296	-		-	0	0	+ 0	-	-	-	0	0	+ 0		474	+ 474
特別納定資産運用損	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
事業費	1,964	2,032	+ 67	197	236	+ 39	129	160	+ 30	498	626	+ 127	330	382	+ 51	148	213	+ 64	3,271	3,636	+ 365
経常利益(△は損失)	1,193	1,799	+ 605	300	565	+ 264	△77	△34	+ 43	120	400	+ 279	74	50	△ 23	38	83	+ 44	1,628	2,862	+ 1,234
特別利益	4	1	△ 2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	+ 0	4	1	△ 2
特別損失	106	134	+ 28	28	27	△ 0	0	0	+ 0	0	0	+ 0	-	-	-	0	0	+ 0	134	163	+ 29
契約者配当準備金繰入額	368	357	△ 11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	368	357	△ 11
税金等调整前当期純利益	723	1,309	+ 585	272	537	+ 265	△77	△34	+ 42	120	399	+ 278	74	50	△ 23	38	83	+ 44	1,130	2,343	+ 1,213
法人税等合計	210	374	+ 164	41	81	+ 40	0	0	-	23	70	+ 46	26	20	△ 6	7	16	+ 8	296	558	+ 261
非支配株主に帰属する当期純利益	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
中間純利益(△は損失)	512	934	+ 421	231	456	+ 224	△77	△34	+ 42	97	328	+ 231	47	30	△ 17	31	66	+ 35	833	1,784	+ 951

主要子会社別貸借対照表(要約)



		第一生命 第一フロンティ		フロンティア生	ア生命 ネオファースト生命			米プロテクティブ			家TAL			第一生命ベトナム			連結				
(億円)	21/3末	21/9末	增減	21/3末	21/9末	增减	21/3末	21/9末	增減	20/12末	21/6末	增減	21/3末	21/9末	增減	20/12末	21/6末	增減	21/3末	21/9末	增減
資産の部合計	389,243	398,885	+ 9,642	96,989	94,993	△ 1,995	3,528	3,813	+ 285	131,349	144,227	+ 12,877	11,194	11,099	△ 94	1,683	1,964	+ 281	635,937	657,888	+ 21,951
現隣金・コール	7,838	7,898	+ 60	7,901	7,495	△ 405	2,489	2,408	△ 80	842	707	△ 135	844	886	+ 42	395	491	+ 96	22,878	22,601	△ 276
買入金銭債権	2,521	2,562	+ 40	-	76	+ 76		-		-	-	-	-	-		-	-	-	2,521	2,638	+ 117
有価証券	334,670	341,771	+7,101	75,143	74,232	△ 910	628	780	+ 151	90,597	99,372	+ 8,774	5,823	5,501	△ 322	1,021	1,201	+ 179	508,799	524,096	+ 15,297
貸付金	25,760	26,001	+ 241		-		13	13	+ 0	12,239	13,247	+ 1,008	13	11	△ 2	36	42	+ 5	37,626	38,880	+ 1,254
有形固定資産	10,861	10,897	+ 35	5	6	+ 0	2	1	△ 0	226	239	+ 13	28	25	△ 3	4	4	△ 0	11,132	11,179	+ 46
無形固定資産	1,194	1,217	+ 22	121	137	+ 16	43	52	+ 9	3,278	3,720	+ 442	900	847	△ 52	2	2	△ 0	4,451	4,829	+ 377
繰延税金貨産	-	-	_	-	-	-	-	-		-	-	-	118	83	△ 34	3	3	△ 0	120	87	△ 32
負債の部合計	357,341	366,249	+ 8,908	94,167	91,858	△ 2,309	3,335	3,657	+ 321	119,596	132,355	+ 12,759	8,227	8,311	+ 84	1,200	1,383	+ 182	587,865	608,020	+ 20,154
保険契約準備金	308,444	305,303	△ 3,141	82,133	80,921	△ 1,212	3,276	3,599	+ 322	108,800	120,161	+ 11,361	6,681	6,776	+ 94	1,085	1,272	+ 186	510,514	518,440	+ 7,926
責任準備会	302,953	299,754	△ 3,199	81,894	80,696	△ 1,198	3,257	3,574	+ 317	107,826	119,095	+ 11,269	1,899	1,761	△ 137	1,050	1,234	+ 184	498,972	506,522	+ 7,549
社債	4,762	3,687	△ 1,075	-	-	-	-	-		1,729	1,846	+ 117	205	194	△ 11		-	~	8,997	8,027	△ 969
その他負債	33,402	45,630	+ 12,228	3,961	3,608	△ 353	53	54	+ 0	6,550	7,862	+ 1,311	762	687	△ 75	113	104	△ 8	46,712	59,840	+ 13,127
退職給付に係る負債	4,001	4,038	+ 36		^	-	^	-		116	117	+ 1	^	^		0	0	+ 0	4,185	4,201	+16
価格変動準備金	2,334	2,424	+ 90	309	337	+ 27	0	0	+ 0		-	-	-	^	-		-		2,644	2,762	+ 117
繰延税金負債	3,122	3,922	+ 799	566	511	△ 55	0	-	△ 0	1,896	1,838	△ 57	-	-		-	-	-	5,583	6,268	+ 684
純資産の部合計	31,902	32,636	+ 733	2,821	3,135	+ 314	192	156	△ 36	11,753	11,871	+ 117	2,966	2,787	△ 179	482	581	+ 98	48,071	49,867	+ 1,796
株主資本合計	6,791	5,659	△ 1,132	1,363	1,820	+ 456	191	156	△ 34	9,146	9,275	+ 128	3,024	2,976	△ 47	537	604	+ 66	18,936	19,165	+ 229
その他の包括利益累計額合計	25,110	26,976	+ 1,865	1,457	1,315	△ 142	1	△0	△ 1	2,606	2,595	△ 10	△57	△189	△ 131	△55	△23	+ 32	29,125	30,695	+ 1,569
その他有価証券評価差額会	25,366	27,213	+1,847	1,457	1,315	△ 142	1	△0	△1	3,689	3,121	△ 567	-	-	-	-	-	-	30,563	31,682	+ 1,118
土地再評価差額会	△220	△240	△ 20	-	-		-	-	-	-	-		-	-	-	-	-	-	△220	△240	△ 20

第一生命グループー連結ソルベンシー・マージン比率



(億円)		21/3末	21/9末	増減
ソルベンシー・マージン総額(A)		89,372	92,369	+ 2,996
資本金等(1)		15,191	15,752	+ 560
価格変動準備金		2,644	2,762	+ 117
危険準備金		7,129	7,138	+ 8
一般貸倒引当金		3	3	△ 0
(その他有価証券評価差額金(税効果控除前)・繰延ヘッジ損益(税効果控除前))×90% (マイナ) 合100%)	スの場	37,579	39,063	+ 1,484
土地の含み損益×85% (マイナスの場合100%)		2,556	2,683	+ 127
未認識数理計算上の差異及び未認識過去勤務費用の合計額(税効果控除前)		△128	△108	+ 20
全期チルメル式責任準備金相当額超過額		23,233	22, 325	△ 907
負債性資本調達手段等		10,312	9,237	△ 1,075
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入され	ない値	△7,314	△4,970	+ 2,34
控除項目		△2,557	△2,601	△ 4
その他		722	1,083	+ 36:
リスクの合計額(B) √[(√ (R ₁ ²+R ₅ ²) + R ₈ +R ₉) ² + (R ₂ +R ₃ +R ₇) ²]+R ₄ +R ₆		18,648	19,768	+ 1,120
保険リスク相当額	R ₁	1,400	1,448	+ 47
一般保険リスク相当額	R ₅	39	42	+ 2
巨大災害リスク相当額	R ₆	13	15	+ 2
第三分野保険の保険リスク相当額	R _B	1,899	1,863	△ 36
少額短期保険業者の保険リスク相当額	R9	-	-	
予定利率リスク相当額	R ₂	2,303	2,202	△ 100
最低保証以之相当額	R7 ⁽²⁾	671	725	+ 54
資産運用リスク相当額	R ₃	14,932	16,090	+ 1,158
経営管理リスク相当額	R4	425	447	+ 22
ソルベンシー・マージン比率 (A) / { (1/2) × (B) }		958.5%	934.5%	△ 24.0 %pt

(1) 社外流出予定額及びその他の包括利益類計額等を除く (2) 標準的方法を用いて算出



本資料の問い合わせ先

第一生命ホールディングス株式会社 経営企画ユニット IRグループ 電話: 050 - 3780 - 6930

免責事項

本プレゼンテーション資料の作成にあたり、第一生命ホールディングス株式会社(以下「当社」という。)は当社が入手可能なあらゆる情報の正確性や完全性に依拠し、それを前提としていますが、その正確性または完全性について、当社は何ら表明または保証するものではありません。本プレゼンテーション資料に記載された情報は、事前に通知することなく変更されることがあります。本プレゼンテーション資料およびその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、第三者が公開または利用することはできません。

将来の業績に関して本プレゼンテーション資料に記載された記述は、将来予想に関する記述です。将来予想に関する記述には、これに限りませんが「信じる」、「予期する」、「計画」、「戦略」、「期待する」、「予想する」、「予測する」、「予測する」、「予測する」、「予測する」、「予測する」、「予測する」、「予測する」、「予測する記述は、現在入手可能な情報をもとにした当社の経営陣の判断に基づいています。そのため、これらの将来に関する記述は、様々なリスクや不確定要素に左右され、実際の業績は将来に関する記述に明示または黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。したがって、将来予想に関する記述に依拠することのないようご注意ください。新たな情報、将来の出来事やその他の発見に照らして、将来予想に関する記述を変更または訂正する一切の義務を当社は負いません。